

FUTURE CENTER

フューチャーセンター通信

2023年12月1日発行号

VOL.46



ゼロカーボンシティ宣言 輪之内町の未来を考える

2023.11.16

2023年11月16日(木)に輪之内町役場・輪之内中学校との共同開催により輪之内町・町民センターでぎふフューチャーセンターを実施しました。対象は輪之内中学校1年生の計85名で、生徒たちは「総合的な学習の時間」で環境やカーボン・ニュートラルなどについて学んだ上でぎふフューチャーセンターに参加しました。

はじめに輪之内町役場の職員から「ゼロカーボンシティ宣言をした輪之内町の取り組み」について情報提供があり、生徒たちは自然の豊かさと住みやすさが共存した持続可能なまちづくりに向けた輪之内町の方針や取り組みについて学びました。その後、「ゼロカーボンシティ宣言」に関わる身近なことや自分自身でできることについて、グループワークを通して考えました。そして、最後に脱炭素社会の実現を目指して個人で取り組む目標を考え、発表しました。生徒たちはぎふフューチャーセンター実施後の約1ヶ月間、各々掲げた目標を実生活のなかで取り組むこととなりました。

輪之内中学校の生徒のみなさんがそれぞれ掲げた目標に継続して取り組み、脱炭素社会の実現に向けた学びを深めることを期待しています。



本企画は、輪之内町が2022年に「カーボンゼロシティ宣言」を採択したことを受け、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目標に、町民・事業者・行政が一体となった取組を推進するための事業の一環として行われたものです。

担当者の感想

輪之内町立輪之内中学校 教諭 若原 崇史さん

本校の1年生は、「総合的な学習の時間」に環境をテーマに役場の方に話を聞いたり、調べ学習をしたりする中で、「輪之内町に住む中学生としてできること」を考えています。今回のフューチャーセンターで「ゼロカーボンシティ宣言」の実現のため、自分自身でできることを考え、実行する決意をしました。自分たちのちょっとした行動や選択がよい変化を生み出すことにつながることに気づきかけになったと思います。



CCSC
ccsc.gifu-u.ac.jp

地域協学センター

TEL.058-293-3880

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel.058-230-1111(代表)
Fax.058-293-3881 E-Mail ccsc@t.gifu-u.ac.jp



MAKE NEW STANDARDS.

東海国立
大学機構



岐阜大学

FUTURE CENTER

フューチャーセンター通信



＼ECOしてお得に!／

2023.11.25

始めないともったいない 『環境にもやさしい節約テク』

2023年11月25日(土)に、輪之内町および岐阜大学地域協学センター主催によるぎふフューチャーセンター「ECOしてお得に!始めないともったいない『環境にもやさしい節約テク』」を、輪之内町文化会館で実施しました。

当日は輪之内町民15名、岐阜大学生14名が参加しました。前半は輪之内町がゼロカーボンシティ宣言をするに至った社会的背景について、地域協学センター伊藤浩二助教と輪之内町住民課よりミニレクチャーを行い、脱炭素社会づくりの重要性について理解を深めました。その後、グループごとに生活に身近なECO行動を学ぶことができるボードゲーム「CN2050～脱炭素ボードゲーム」(株式会社丸義モリカワ)を体験しました。

後半はグループごとに周りの人たちに広めたいECO行動を一つ選び、人々が進んで行動を起こしやすくするための、行動科学の知見を活用した働きかけ手法の一つである「ナッジ」(「そっと後押しする」の意味)のアイデアを検討し、最後に全体共有しました。各グループからは、「AIで賢くまかせよう!(エアコン温度)自動設定でCO₂減少へ」、「冬の暖房これ以上あげないで!北極のクマさん困ります…」など、イラストを交えたユニークで心を動かすナッジが提案されました。

参加者アンケートでは「若者とともに学べて楽しかった」、「意外と知られていないけど効果的なエコ活動を知ることができた」、「今日家に帰ったら使っていないコンセントを抜きます!」といった前向きな回答が多くありました。

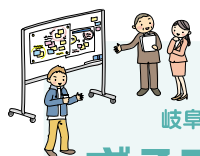
岐阜大学は今後も引き続き、輪之内町と連携して脱炭素社会の実現に向けた人材育成に取り組んでいきます。

本企画は、輪之内町が2022年に「カーボンゼロシティ宣言」を採択したことを受け、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目標に、町民・事業者・行政が一体となった取組を推進するための事業の一環として行われたものです。

担当者の感想

輪之内町住民課 陸田 友彦さん

ボードゲームを活用し、脱炭素に向けた行動についてわかりやすく体験してもらえました。また、住民と大学生が一緒になってアイデアを出しながらナッジを考えてくれました。脱炭素社会実現に向け、町だけでなく住民や学生などと一緒に取り組めるよう、引き続き連携して進めていきたいです。



ぎふフューチャーセンターは
岐阜大学COC事業の取組みの一環です

ぎふフューチャーセンター



岐阜大学は、地域の課題を探りその解決策を考えるため、大学生、大学教職員、地域住民の対話の場である「フューチャーセンター(Future Center)」を定期的に開催しています。

ぎふフューチャーセンターとは、岐阜大学COC事業の取組みの一環で、複雑化した地域の課題等について、多様な人々が集い「未来志向」、「未来の価値創造」といった視点から議論する対話の場のことです。